

こたばの力 からだの力 こころの力
園長室だより



城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和3年11月2日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

「いのちが 一番！」

日常生活の中で学ぶ一避難訓練一



早いもので11月、紅葉の美しい季節を迎えました。緊急事態宣言もようやく解除され、幼稚園の生活にも少しずつ落ち着きが戻ってきました。



さて、10月19日(火)、避難訓練を実施しました。5月、9月と回数を重ねつつ、今回は避難場所をグラウンド

へと広げ、避難経路も変更しました。

園では「いのちが一番」を合言葉に、とても大切な活動であることを幼いながらも理解できるよう、取り組んでいます。訓練活動だけでなく、事前指導と事後指導を大切にしています。

事前指導では、「おはしも」を確認します。「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」です。

事後指導では、訓練を振り返って、感じたことを話し合い、理解を深めながら、次回の行動へとつないでいきます。本園では、「見通し(めあて)をもって活動し、振り返って学びを深める」活動をあらゆる保育場面で取り入れています。子ども自身が、主体的に活動できる力を身に付けていくためです。

保育者の考察 3歳児

避難訓練がどのようなものか、子どもたちにも定着しつつあるようで、「おはしも」の約束がすぐに出てきたり、「命が…」と言葉を出すと「一番」と答えたりする姿も見られた。地震や火事を経験することはもちろん少なく、実体験としては難しいが、いざという時の為にとということが、子どもたちにも伝わり始めているようにも感じた。

振り返りでは、「みんなの命が一番」になると、「先生もだよ」「たんぼぼさんも」「園長先生も」「他の(クラス)の先生も」と、「みんな」という言葉が自分たちを指すと思ったようで、次々と言葉が出てきた。

年少でもここまで気持ちを寄せたり、言葉にしたりすることができるのかと、改めて成長を感じた。繰り返し伝えることは意識してきたが、それを受け止めてくれる子どもがいて成り立つことだと実感した。

保育者の考察 5歳児

避難訓練では、事前指導として、今回は「おはしも」の紙を黒板に裏向けて貼っておいた。

すると、朝から「3つは分かる」とKちゃんが発言。それを聞いたTちゃんは「走らないだよ」と追加で発言していた。

実際の活動では、真剣に頑張る子どもたちが多く、振り返りではその姿を認めた。その時、Hちゃんは「グラウンドの時サッと歩けなかった」と発言した。

これを受けて「では次回どうしたら良いのだろうか」や、次のステップアップとして「机がない時や戸外遊びの時ではどうしたら良いか」なども話し合いを深めていった。すると、「頭をリュックで守る」などの発言が出てきた。今日は一列で移動したが、少し後ろの子どもが遅くなってしまったので、今後は素早く避難するのを意識して話をしようと思う。



ここでクイズです。全園児 242名がグラウンドまで避難して人数確認を終了するまでに要した時間は？

- ① 5分以内
- ② 7分以内
- ③ 9分以内

正解は裏面に！



10月27日(水)好天に恵まれ、天王寺動物園への遠足にでかけてきました。久しぶりの園児全員でのおでかけに、子どもも教職員も嬉しくて、とても楽しい遠足になりました。

お家でいっぱい話をしたことでしょう。園でも早速絵を描いたり製作したりしています。

正解 ① 5分以内です。

正確には4分20秒でした。予想以上に速くて驚きました。訓練の成果です。

また、9月に実施した避難訓練では、2分40秒で玄関ホールに全員が集合できました。たんぽぽ組の子どもたちも泣きながらの参加でしたが、今回の避難訓練では泣かずにできました。

このように繰り返す中で、どの子どもも命を守るために身に付けることが増えています。自分の命、そしてみんなの命を大切にしたい！

活動を通して感じ取ってほしいと考えています。